

栃木県総合教育センターだより

学びの杜通信

第97号 令和6(2024)年3月4日発行



第77回栃木県理科研究展覧会並びに発表会

本展覧会並びに発表会は、「児童生徒の科学する心を育成し、本県理科教育の振興を図る」ことを目的に、昭和22(1947)年から続いている、長い歴史と伝統を誇る科学コンクールです。今年で77回目となる本展覧会並びに発表会を開催することができたことは、関係各位の御尽力に加え、御指導に当たられてきた先生方の御理解、御協力の賜であり深く感謝いたします。

今年度の中央展覧会審査会は、2月2日(金)に栃木県総合教育センターで行われ、40名以上の審査委員の方々により厳正なる審査をしていただきました。出品総数2,817点の中から84点が中央展覧会審査会に進み、そのうち27点が最優秀賞に輝きました。



中央展覧会審査
委員会の様子



中央発表会の様子



表彰式の様子

中央発表会審査会は、2月15日(木)に栃木県総合教育センターで行われました。発表総数27点の中から6点が中央発表会審査会に進み、そのうち4点が最優秀賞に輝きました。

同日、中央展覧会と中央発表会で選ばれた最優秀賞の受賞者に対し、表彰式が同所で行われました。最優秀賞の作品は、身近な生活との関わりのあるテーマを設定したものや、長期間にわたり丁寧に観察してまとめたもの、詳細な記録をとり、それを基に考察したもの、どれも素晴らしい内容であり、工夫してまとめられていました。来年度も展覧会や発表会に多数の作品が出品、発表されますことを願っています。

なお、中央展覧会及び中央発表会の審査結果については、栃木県総合教育センターWebサイトで公開しています。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/tenrankai/r05-rikakenkyu/>

【問合せ先】研修部 (TEL 028-665-7202)



次年度も先生方の校内研修等をサポートします

先生方にとってよりよい校内研修等となるように、センターの社会教育主事や指導主事が学校に伺い、講師としてお手伝いをさせていただきます。以下の表を御確認の上、各担当部へ電話でお申込みください。日時、内容など、御要望に応じることができるよう、出来る限り努めて参ります。テーマに無い研修に関しても承れることもありますので、まずは御相談ください。

社会教育に関する研修支援

生涯学習部 TEL 028-665-7206

No.	テーマ	目安時間	主な内容
1	人権学習	50～120分	参加体験型の学習を通して、人権問題への理解を深めるとともに、人権を尊重できる意識を高めます。
2	学校・家庭・地域の連携	50～120分	学校運営協議会等で行われる、教職員と地域の方や保護者を交えた「熟議」の進め方を、模擬体験を通して学びます。
3	保護者対象の学習会	50～120分	保護者会（学年・学級懇談会）・PTA（活動）等における保護者同士の話し合い活動を充実するため、親学習プログラムの活用方法を中心に、ファシリテーター（進行役）の役割や進め方について学びます。

校内研修に関する研修支援

研究調査部 TEL 028-665-7204

※ 実施目安時間は60～120分程度で相談に応じます。下記テーマにない校内研修に関しても、お気軽に御相談ください。

No.	テーマ	対象	主な内容
1	各科等の授業研究会	小・中・高	学校課題の解決に向けて実施する各教科等の授業研究会をサポートします。授業参観や授業研究会を通して、授業づくりのポイントや授業改善につながる視点を先生方と一緒に検討していきます。（指導案検討の段階から一緒に取り組む事も可能です。）
2	資質・能力の育成を図る授業づくり～単元の見直しとICT活用の視点から～	小・中	児童生徒の資質・能力の育成を図るために「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくりを考えていきます。特に単元や題材のまとまりの中で資質・能力を育成するデザインを考え、その過程における効果的なICT活用などの工夫を学びます。
3	教科における「探究的な学習」の充実	高	各教科・科目等において「探究的な学習」を効果的に取り入れた授業デザインや授業展開の方法について、演習などを通して理解を深めます。また、ルーブリックの作成と活用方法についても学びます。
4	ICTの活用 実践講座	小・中・高	1人1台端末を活用した授業実践やプログラミング教育、各種クラウドサービスの効果的な活用や業務の効率化など、学校の実態やニーズに合わせて学びます。
5	情報モラル教育	小・中・高	児童生徒の実態を踏まえ、ネット上で起きている問題とその予防や対応について学びます。ワークショップを通して、先生方の実践力の向上を目指します。
6	マネジメント	小・中・高	組織マネジメントやカリキュラム・マネジメントの考え方を踏まえ、各学校の教育目標、ミッション、ポリシー等の実現に向け、教育活動の評価と改善策などを考えます。
7	危機管理	小・中	学校における具体的な危機の場面を設定し、リスクの洗い出し、クロスロード、シミュレーションを通して、組織全体の危機管理に対する意識を高めます。

教育相談・特別支援教育に関する研修支援

教育相談部 TEL 028-665-7210

7211

No.	テーマ	目安時間	主な内容
1	いじめの理解と対応	50～90分	いじめ防止対策推進法に基づくいじめの認知、いじめの早期発見、早期対応、いじめの未然防止、組織的な対応等について考えます。
2	不登校の理解と対応	50～90分	不登校の考え方、不登校の初期対応、不登校の未然防止、登校支援、組織的な対応等について考えます。
3	通常の学級における特別支援教育	50～90分	通常の学級における指導・支援の基本的な考え方や特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的な指導・支援、合理的配慮の提供等について学びます。
4	Q-Uの活用	50～120分	Q-Uの各シートの見方と活用のポイントについて学びます。（※ Q-Uの結果を用いた事例検討等を実施することも可能です。）
5	自立活動の指導の在り方	50～90分	自立活動の指導の基本的な考え方、個々の児童生徒の実態把握から適切な指導目標や具体的な指導内容を設定するためのポイント等について考えます。（※ 自立活動に関する授業研究会に参加することも可能です。）
6	事例検討	60～90分	児童生徒への指導・支援の方針や具体策を考えます。
7	その他		上記の内容以外にも、カウンセリングマインドやアサーショントレーニング等、学校の要望に応じて実施することも可能です。

幼児教育と小学校教育との接続に関する研修支援

幼児教育部 TEL 028-665-7215

No.	テーマ	目安時間	主な内容
1	架け橋期の教育の充実	60～90分	スタートカリキュラムや生活科の充実のために大切にしたいこと等を学び、架け橋期（5歳児から1年生の2年間）の教育の在り方について考えます。
2	子どもの育ちと学びをつなぐために	60～90分	幼児期の指導要録や口頭による情報交換の趣旨と内容を踏まえ、小学校において一人一人が自分らしさを発揮しながら学ぶための指導の在り方について考えます。